

立花生徒会新聞 Trefle通信

立中スローガン

卷之三

refle^e(テリ-フ)
の意味「調和」
仲が良く全員が
輝ける学校

第3号 平成30年
5月2日 木曜日
尼崎市立第九中学校
生徒会新聞

体育大会

集にご協力頂きありがとうございました。みんなさんの素晴らしい作品の中から今年度は、三年四組次本琉乃さんの「踏み出せ 新しい一歩」に決まりました。これは、気持ちを切り替え、目標を持つて何か新しいことに挑戦するという意味が込められています。始めの一歩を踏み出すのはとても不安です。しかし、その一歩から新たな可能性を見つけることもできると思います。また、苦手意識を一つでも減らすことができます。失敗を恐れず、積極的に挑戦してみましょう。

では、一歩を踏み出しための勇気を得るにはどうすれば良いのでしょうか。まず、自分を信じてみてください。自分を信じ、ポジティブに物事を考えることができます。大切だと思います。勇気を出して行動した結果、成功したというイメージをしてみてください。考えるだけで怖がったり、臆病になつているといつまでも一歩は踏み出せません。夢も遠のいてしまいます。もう一つは失敗に落ち込まないことです。失敗したということ

戦した証拠であり、失敗は成功へのヒントです。落ち込まず失敗の原因を探して成功へと繋げましょう。挑戦することに損得を考えず、今自分がどうすべきかを考え、前向きに進んでみてください。そうしていくと、後に自分は勇気ある行動をしていたんだと気づくのではないかでしょうか。勇気は、行動力ではなく、行動している自分についてきてくるものだと思います。

挑戦したいから勇気が必要ではなく、挑戦したから勇気がある人なのです。時間は平等に与えられています。決して時間を無駄にはせず、今自分ができる小さな一步から踏み出してみてください。これは、勉強でも同じことがいえると思います。逃げずに立ち向かい、コツコツと努力を重ねていいことでテストや高校入試で自分の満足のいく結果を得られます。満足な結果を得るためにも毎日の勉強をしっかりと取り組むことが大切です。一年間このスロー・ガンをもとに充実した学校生活を送つていきましょ

少しずつ夏の暑さでも感じなくなってきたましたが、部活動には一生懸命取り組めているでしょうか。一年生のみなさんは部活動に入つてから約一ヶ月が経ち、そろそろクラブの活動に慣れてきたころだと思います。部活動は楽しいことだけではなく、大変なこともあると思いますが、そこから学べることもたくさんあるはずです。最後にこの部活動に入つて良かったと思えるよ

う今から努力を積み重ねていきましょう。困ったことがあれば顧問の先生方や先輩たちにいつでも頼ってみてください。きっとみなさんの方になってくれます。

また、二年生のみなさんは今まで先輩方に教えてもらっていたことを後輩たちに教える立場になります。これからは、一年生の手本にならなければなりません。後輩の良き手本となせん。

公式戦である総体がありましたが、この総体は泣いても笑つてもこれが最後です。これまでコツコツと努力してきたことのすべてを最後の大大会で出し切り、悔いの残らない結果を出して終わることができるよう頑張ってください。また、最後の大会には万全の体調で臨めるよう、体調管理もしっかりと行いましょう。

ここで、みなさんに紹介したい四字熟語があります。

そこで、今まで先輩方が動を今一度は自分たちで引き継いでいくよう、頑張ってください。三年生のみなさんが、自分の力を最大限に発揮されるよう、有意義な時間をお過ごせるようにします。間を過ごせるようになります。

年として気を引き締めて頑張ってください。普段の体育授業でのラジオ体操や声だしを一人一人が意識して集中して取り組みましょう。そして、自分達のクラスを優勝へと導きましょ

行進は腕を肩の高さまで足は膝が九十度になるまで上げ、縦横の列がそろうとうに頑張つてください。ラジオ体操では伸ばすところはしっかりと伸びるなどとメリハリをつけて行きましょう。また、練習は長時間行うので水分補給をしましよう。

今年度のスローガン「踏み出せ 新しい一步」の意味にある挑戦。何事も挑戦です。挑戦しなければ始まりません。自分自身にもクラスにも良い思い出となるように頑張りましょう。

体育大会まで残り約二週間となりました。各委員会や係、クラブ部員のみなさんは体育大会の準備、当日には運営などを行います。準備や運営では、一人一人が体育大会が上手く進むようについて気持ちは忘れず、に、各仕事に責任を持つ取り組むようにしましょ

う。（杉山、帆北、今村、藤田）

立中スローガン

齊東野語

第3号 平成30年
5月2日 木曜日
尼崎市立第九中学校
生徒会新聞

体育大会

修学旅行

私たち三年生は、四月二十一日から二十三日までの三日間沖縄へ修学旅行に行つてきました。今年度の学年スローガンは three でした。three は最後の一回、心一つに、一番の思い出という意味が込められています。私たちも三年生になり学年で行動することが最後となりました。この学年スローガンを心がけ一人一人が行動できていたと思います。そして沖縄のことを少しでも多く

学ぶことができたのではありませんか。実際に一日、平和記念公園で平和宣言を行い、平和記念資料館では太平洋戦争沖縄戦について学びました。ガマ体験や資料館の写真などから戦争の悲惨さを知ることができました。この体験から今、私たちがこうして平和に毎日暮らせていることの幸せさやありがたさを感じることができます。そしてその日の夜は民泊をしました。民泊とは、現地の方々の家に宿泊

それがどの民泊先で色々な体験をさせて頂きました。普段とは違った環境で沖縄でしか食べることのできないご飯を頂き、現地の方々と沖縄に関するお話をすることが貴重な経験になりました。一日目は、沖縄の貝や砂を使ってキャンドルや風鈴を作りました。それ素敵な作品ができてしました。そしてその日の夜に行つた学年レクでは、漫才やクイズといった楽しい出し物がたくさんあり、とてもみんなで盛り上がることができました。

城は二千零一年十二月に世界遺産に認定され、今では多くの観光客がこられていました。そして、その後に行なった国際通りでは班別行動のお屋敷で飯を食べたりお土産を買つたりして、とても満喫できました。

私たちはこの三日間で最高の思い出を作ることが出来ました。こうして最高の思い出を作ることができたのは実行委員会はじめ現地の方々などの協力があつたからこそだと思うのでこれからも感謝の気持ちを忘れず学校生活に活かしたいと思います。

ところは自分自身が自分のため、クラスのために頑張つていいところだと思いつます。また、リレー種目の良いところはグループで致団結して協力し合い、グループのため、クラスのために頑張つていいところだと思います。なので、一人が自分の力を出し切りましてよう。またクラブ行進、クラブ対抗リレーもありました。クラブ行進では各クラブの公式戦で使っているエニフォームを着たり、道具を持ったりして行進します。クラブ対抗リレーでは運動部男子、女子と文化部に分かれて走ります。毎年白熱した戦いがくり広げられます。

味にある挑戦 何事も挑戦
です。挑戦しなければ始ま
りません。自分自身にもク
ラスにも良い思い出となる
ように頑張りましょう。

編集後記

体育大会まで残り約二週間となりました。各委員会や係、クラブ部員のみなさんは体育大会の準備、当日には運営などを行います。準備や運営では、一人一人が体育大会が上手く進むようについて気持ちは忘れず、に、各仕事に責任を持つて取り組むようになります。う。（杉山、帆北、今村、藤田）

編集後記